

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年8月29日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	---------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	木造平屋建609.35㎡(木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など) 開館時間: 午前9時から午後5時まで 休館日: ①月曜日(その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日)、②休日の翌日(その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。)、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金: 1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円(370円)、シアター630円(780円)、(()は休館日)		
職員体制	常勤職員: 3人 合計: 3人		

2 収支の状況

単位: 千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)
収入	県支出金	15,183	15,142	15,465
	利用料	137	146	150
	参加料	2,020	1,949	2,000
	交付金、助成金等	3,269	2,616	1,710
	その他	11	10	20
	収入計 (a)	20,620	19,863	19,345
支出	事業費	4,787	4,376	3,735
	管理運営費	4,492	4,521	4,610
	人件費	10,702	10,112	11,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	19,981	19,009	19,345
収支差額 (a) - (b)		639	854	0

3 利用状況

	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(目標)
	13,143	14,604	12,500
①年間利用者数(単位:人)	職員派遣事業等により施設外での対応実績人数		
	3,314	2,429	3,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内設置のアンケートボックスや養成講座、親子イベントを実施した際のアンケート等で利用者のニーズを把握するよう努めた。 ・参加された行事についてだけでなく、他に要望がないか等、広く意見を集めるよう努めた。 <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般来館者や養成講座受講生の中から、開催を希望する講座があり、今後の展開が希望できるという判断から3つの講座を開催した。 ・情報交流館ではどのようなプログラムができるのかを知りたいとの声が学校の先生方から多くあったので、森林学習プログラムを各学校に送付して利用促進に努めた。 		
③その他特記事項			

4 平成30年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや地元の方、大学生等と協力して限られた職員で運営している。 ・アンケートの実施や学校カルテの作成等によりニーズを把握するとともに新しい講座を開催した。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の森林ボランティア養成を重視しての取り組みを行っている。 ・ボランティアのスキルアップ講座等新しいプログラムについても検討している。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は増加するとともに目標を上回っている。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に行われている。
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等と協力して利用者へのサービス向上に努めるとともに、目標を上回る実績を上げている。 ・既存の年間講座を見直し、短期の講座を増やす等の工夫が評価できる。 ・次世代の森林ボランティア養成を重視した取組を実施している。 ・資格の取得や研修への参加等、スタッフの育成も積極的に行っている。 ・長い経験に基づき、十分な管理運営ができており、今後もさらなる発展が期待できる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの